

通信設備の 接続情報/位置情報一元化による 通信サービスの高品質化・効率化

HITACHI
Inspire the Next

通信事業者が保有する、膨大かつ複雑な光ファイバー網および局内通信設備について、物理的・論理的なつながりを含めて設備情報を可視化・管理することで、情報通信サービスの高品質化・低価格化の実現を支援します。

お客さまの課題

- ・通信設備管理用データや図面の更新作業の自動化
- ・回線トラブルが発生した際のお客さま対応の迅速化（トラブル発生箇所と影響波及範囲把握の迅速化）

データ価値化の流れ

データ収集

- ・通信設備の稼働状況
- ・通信設備の機器情報：個体情報（メーカー名、製造番号など）
- ・通信設備の位置情報：ラック等の局内設置位置、局外のケーブル/設備敷設位置など
- ・通信機器同士の接続情報：他局・他設備との物理的・論理的なつながり

データ分析

- ・設備増設時の最適ルート抽出
新規顧客獲得時など、顧客の家屋まで新たに通信ケーブルを敷設する際、顧客住所から地図上の位置を判別し、周辺の通信設備の負荷やケーブル敷設距離などを考慮して、適切な接続先設備とルートを自動計算
- ・工事仕様書の内容を設備管理システムに自動で反映することで、常に最新の設備状況を可視化
- ・局内外の設備位置情報や接続情報をシームレスに統合

データ価値創出

- ・通信設備の工事対応の迅速化
- ・お客さま対応の質向上（回線トラブルが発生した際の対処の迅速化）

本ユースケースを提供するソリューション・製品

- ・（関連するソリューション） [GeoMation 地理情報システム](#) (株)日立ソリューションズ

導入実績のある業種

- ・通信事業者